



発行：京一旭町会

会長 渡辺 伸一

編集：京一旭町会 広報担当

- 1月13日(日) 成人祝いお届け
- 19日(土) 京一旭町会新年会
- 2月10日(日) 京一旭町会役員会
- 3月14日(木) 京一旭町会役員会
- 17日(日) 防災コンテスト48
- 4月7日(日) 京一旭町会役員会
- 14日(日) 京一旭町会定期総会

京一旭町会ホームページ <http://kyoichiasahi.jp/>

京一旭町会の定期総会を開いたします。今年は2年一期の役員改選にあたりますが、役員のなり手が年々減少し、「盆踊り」「防災訓練」などの大切な催しが開催できなくなり、住民の安全・安心・

定期旭総会

4月14日(日)午後4時より
イーストコア曳舟集会室(予定)

三〇年度主な町会活動

30年4月

- じゃがいも植え付け
- 春の全国交通安全運動《交通当番》
- 京一旭町会定期総会

5月

- クリーンキャンペーン

- 町会会館建設委員会

10月

- 京一旭町会防災訓練

11月

- 秋の火災予防運動《町内パトロール》
- クリーンキャンペーン

12月

- 餅つき大会

- 野良猫対策委員会

7月

- じゃがいも収穫祭
- 納涼盆踊り大会

9月

- 敬老祝い
- 秋の全国交通安全運動《交通当番》

- 小学校入学祝
- みまもり活動
- 役員会10回
- 監査会
- 各専門部会
- 区役所など公共機関への申請・会議など
- 掲示板修理

31年1月

- 成人祝い
- 新年会

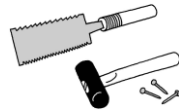
2月

- 防災拠点会議防災訓練

3月

- 防災コンテスト

親睦が危うくなる恐れがあります。会員の皆様に積極的に役員に参加いただくことで、新しい息吹を吹き込んでください。お待ちしております。



「見て、知って役立つ」
掲示板の修理が終わりました

昨年度は4ヶ所。今年度は2ヶ所を修理し、『倒れそうでキケンだ!』『ボロボロで貼りにくいし、画鋲が落ちる!』など、町内の皆さまから苦情が寄せられておりましたが、土地所有権者の皆さまのご厚意と町会役員の協力の力で、2年がかりで修理を終えることができました。ご協力ありがとうございました。

また、強いビル風によって、掲示物のはがれ飛んでしまうなどの問題がありますが、それは今後の課題としまして、とりあえず倒れてキケンな掲示板はなくなりました。

費用は区からの助成金を活用しました。



「避難所での適切な対応をシミュレーションで学ぶ」

避難所(H)運営(U)ゲーム(G)

主催：曳舟小学校地域防災拠点会議



2月17日(日)今までは見学と体験が主でしたが、曳舟小学校体育館で6町会・1自治会とPTAの役員が参加して、避難所開設図上訓練HUG(ハグ)というゲームを体験しました。

HUGとはH(避難所)、U(運営)、G(ゲーム)、の頭文字をとり、英語で「抱きしめる」という意味で、避難者を優しく受け入れると合わせて名づけられたそうです。

今回8つのグループに分かれ、避難所運営を考えるために初期の段階で避難してくる方をどのように受け入れるか考えるカードゲームです。

カードには、年齢、性別、車椅子の方、ペットを連れた方やトイレの問題、車で避難、避難物資受け入れなど様々な条件が書かれています。カードに書かれた条件を体育館や教室、幼稚園園舎、校庭の平面図に、どのように受け入れるか意見を出し合い進めます。

受付場所、部屋割り、仮設トイレの設置場所なども話し合い、最後に避難所運営の課題や問題点をグループごとに発表。

どのグループもトイレやペット、要援護者など対応に苦慮していました。

今回の訓練で、30年間で70%の確率で起こるといわれている首都直下地震、相当の準備と心構えが改めて必要だと感じました。

来年度は、早い時期にこれらの問題点を草案に防災拠点会議が開催される予定です。

京一旭町会 会長・防火部長 渡辺 伸一

《HUG ゲームってなあに?》

“静岡県が開発した、避難所運営で様々な出来事をいかに対応するかの疑似体験ゲームです”

◎ゲームのやり方

- 1 読み上げ係を決める：カードを読み上げて進めるので、進行や助言役になります。
- 2 スペースを作る：体育館・教室・校庭等と書かれた用紙(平面図)を机に置きます。
- 3 ゲームの条件を設定：当日の条件(震度、季節、時間、被災状況、避難者の様子等)を説明。
- 4 ゲーム開始：カードを次々と読み上げて、危機感を持ってスペースにカードを配置します。
- 5 終了とまとめ：カードを全て配置し終わったら終了です。全員で意見交換を行います。